



◀目を凝らして生物を
探す児童



生き物調査で田んぼ周辺の生態を学ぶ

営農企画課

J Aあきた白神はJ A全農あきたの協力のもと、6月14日に「田んぼの生き物調査」を実施しました。能代市立第四小学校の5年生94人が参加し、先月、自分たちで田植えを行った圃場で調査を実施しました。

はじめに、網を使って田んぼの中の生き物を探したあと、植物・陸生動物・水生動物の3班に分かれて田んぼの周辺を調査した。児童らは採取したヤゴやカエルなどの虫やシロツメグサなどの植物を、当日渡された図鑑で確認し合

ながら、田んぼの周りにはたくさんの動植物がいることを学びました。

J A全農あきたの職員は「たくさんの生物がいる田んぼはすばらしい所。動植物の命を大事にもらいたい」と話し、児童からは「身近な田んぼにこんなにたくさんの生物がいるとは思わなかった。普段見ることのない植物もあったのでとても楽しかったです」と感想を話してくれました。

地域の特産野菜を学ぶ出前授業

営農企画課

営農企画課の佐藤重樹係長は6月9日、能代市立浄城西小学校で講師となり、4年生74人を対象に「白神ねぎ」についての出前授業を行いました。

授業は総合的な学習の時間に「『白神ねぎ』って何？」と題して行われ、都道府県別のねぎの生産量や『白神ねぎ』の誕生のきっかけや特徴、さらにはおいしいねぎの見分け方など、グラフや写真をスクリーンに映し出し分かりやすく説明しました。

授業を受けた児童からは「白神ねぎの秘密をたくさん知ることができた」、「自分たちも畑作体験で白神ねぎを植えたので、収穫が楽しみです」といった感想が聞かれました。



▲実物のねぎも使用しわかりやすく説明しました



▲店舗前でPR活動を行いました

J Aカードでお得にお買い物

金融課

J Aあきた白神は6月3日、J A職員と農林中央金庫秋田支店職員ら7人が参加し、「みょうが館」でJ Aカードの推進キャンペーンを実施しました。

このキャンペーンはJ Aカードを利用して、J Aの直売所やファーマーズマーケットで買い物をすると、請求時に5%割引となるサービスが6月1日より始まったことを周知し、同カードの新規顧客獲得を目的に行われました。この日は、みょうが館での月一のイベントも重なったこともあり、多くの来店者が訪れました。参加した金融課職員の声かけもあり、当日は6人の予約を受け付けました。

